

2018.年 9月 9日（日）ときがわ仁志の森活動報告

参加者 6名

報告者 横山

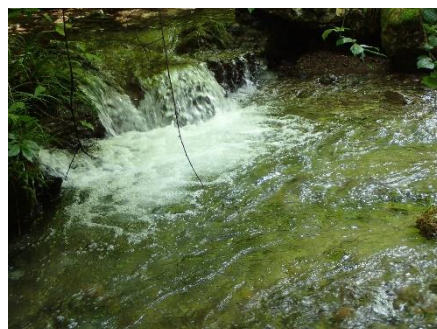
出発前に上空を見ると曇がどんよりと広がり気温は23度、しのぎ安い1日になるかなと思いつつ出発。学校も始まり、天気は曇りで道路はスイスイいつもより順調、途中で豆腐屋さんに寄りペットボトルに40Lの水を頂く。

===気にはしているのですが毎回、豆腐は買わずに協力金箱に心づけを入れるだけ===

集合場所のせせらぎホール駐車場は車が一杯、剣道着を着けた子供が玄関にずらり、ときがわ町は武道が盛んなことを改めて認識、一方、活動に集まる会員の駐車は大丈夫かと心配していたら、子供を降ろし車は駐車場を後にしており、駐車場の確保は問題なくでき一安心。

本日の仁志の森の活動は、3月に萩が丘小学校児童が植樹したツツジ周辺の下草刈りとススキの抜根です。2丁の唐鍬を使った抜根は急斜面で足場が悪い上に力仕事のためすぐに汗だくになり、2～3個を抜くと交代するという作業です。長瀬のススキの株は年数を経ており大株で大仕事、仁志の森は小ぶりで比較にならないほど楽に抜根でき、今後の長瀬の作業の参考に

なります。作業後は恒例となった摘み取り野草の同定会で、今回はオオハナワラビ、ニガクサ・・・等々26種の同定をしました。昼食後、前回の蟻対策としてブロックで角材間の隙間確保の処置をした頃には日差しもあり31度の気温の中、無事故で帰路に付きました。



増水した泉川



季節外れのヤマツツジ



作業前



作業後

《山の様子》



ホオノキ



サンショウ



シオデ



ウバユリ



マタタビ(虫こぶ)



ヤブマオ



モミジガサ



ハダカホオズキ



フユイチゴ



ヤマジノホトギス



ツルリンドウ



オオハナワラビ



オオゴムタケ



ハナオチバタケ(褐色型)



マダラカマドウマ